

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

白山の恵みと産業基盤を活かした雇用拡大と人材確保推進事業

2 地域再生計画の策定主体の名称

白山市

3 地域再生計画の区域

白山市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、平成 17 年 2 月 1 日に 1 市 2 町 5 村が広域合併して誕生した自治体で、県内最大の面積（754.93 km²）を誇っている。県都金沢市に隣接し、日本三名山の一つ白山から日本海まで、そしてそれをつなぐ一級河川手取川流域に広がる扇状地を含む広大な市域は豊富な自然と美しい景観に恵まれており、かつ、地域ごとに独特の伝統文化や生活様式が色濃く残されている。

白山からの豊富な水資源や強固な地盤、安価な電気料金、整備された交通網等をセールスポイントに、これまで積極的に企業誘致を進め、17 か所の工業団地には現在 335 社が立地しており、従業者数（4 人以上の事業所）は県内 1 位であり、本市の基幹産業である機械や電子部品を中心に製造品出荷額でも県内 2 位を上げている（平成 26 年工業統計）。また、都道府県順位で石川県が第 1 位である女性の就業率は、県内自治体では第 1 位を誇る（平成 22 年国勢調査）。加えて、白山や日本海の恩恵を受けた豊かな水と農林水産資源、醸造をはじめとした伝統的な発酵食品文化がある。

このように、第 2 次産業を中心に発展してきた本市であるが、情報化の進展などにより、産業構造が大きく変化する中、今後、さらに国際競争に対応する技術力の向上や、新しい分野における工業展開、企業体質の改善が求められている。今後は、付加価値の高い製品開発を行うため、異業種交流や地域連携を図るとともに、新しい技術や人材の育成を図る必要がある。

そこで、本計画では、白山からの豊富な水資源や整備された交通網等の立地特性を活かした戦略的な企業誘致を進めるとともに、県内には学校数全国 2 位を誇る高等教育機関 20 校が立地する条件を活かし、産学官が連携した地域経済の活性化と雇用の創出、さらには、新たに起業しようとする人へ空き店舗や空き家を活用に対し支援を行うなど、特に若い世代の就労の拡大と人材の確保を目的とした様々な取り組みにより、持続的な地域産業の発展及び学生の地元定着の促進を目指す。

【数値目標】

事業	合同就職説明会事業	年月
KPI	雇用拡大と人材確保推進 による市内就職者数	
申請時	-	H27.3
初年度	2人	H29.3
2年目	13人	H30.3
3年目	4人	H31.3



5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 (3) に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例
(内閣府):【A2007】

(1) 事業名: 白山の恵みと産業基盤を活かした雇用拡大と人材確保推進事業

(2) 事業区分: 人材の育成・確保

(3) 事業の目的・内容

(目的)

大学進学等による10代後半から20代前半の若い世代の転出が顕著である中、就職を機にふるさと白山で豊かな生活を送りたい人の希望を実現するためには、安定した雇用の場の確保が必要である。

このため本市では、白山からの豊富な水資源や整備された交通網等の立地特性を活かした戦略的な企業誘致を進めるとともに、県内には学校数全国2位を誇る高等教育機関20校が立地する条件を活かし、産学官が連携した地域経済の活性化と雇用の創出、さらには、新たに起業しようとする人へ空き店舗や空き家を活用に対し支援を行うなど、特に若い世代の就労の拡大と人材の確保を目的とした様々な取り組みにより、持続的な地域産業の発展及び学生の地元定着の促進を目指す。

(事業の内容)

・ 合同就職説明会事業

平成30年3月大学等卒業予定者及び既卒者を対象に、地元での就職活動を支援するとともに、市内企業の人材確保をサポートするため、市内に事業所がある企業の合同就職説明会を開催する。

具体的には、市内の大学等(卒業予定者約550名のうち就職希望者約500名)や、県内外の大学等(北陸3県21校、その他約25校)へ本説明会の案内を行い、加えて市広報や新聞広報へも掲載し、広く参加者を募集する。そのうち、大学等卒業予定の就職希望者約250名及び既卒者約25名の参加を見込み、参加者に対し、各企業が説明を行う。一方、参加企業の募集については、工業団地組合等を通じての案内(約300社)や個別依頼(約20社)を行い、そのうち約50社の参加を見込んでいる。参加企業で約500人の求人を見込んでおり、これらをマッチングすることで、特に若い世代の就労の拡大と人材の確保を図る。

併せて、本市の定住促進各種制度や山・川・海のすべてを備える豊かな自然環境をもつ白山市を、将来にわたり住んでみたいと思えるまちとして、その魅

力を紹介し、学生の地元就職及び地元定住への意識向上を促す。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

基本目標「商工業の集積と農林水産資源を活かした『仕事・雇用』創生戦略」の、大都市からの人材還流施策に位置付けられており、本事業においてU1Jターン希望者や県内の高等教育機関 20 校の学生に市内企業の各種情報と白山市の魅力を提供することにより、この事業は、市内企業における就労の拡大と人材の確保、将来にわたり市内での安定した雇用の創出に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	合同就職説明会事業	年月
KPI	雇用拡大と人材確保推進による市内就職者数	
申請時	-	H27.3
初年度	2人	H29.3
2年目	13人	H30.3
3年目	4人	H31.3

(6) 事業費

(単位：千円)

合同就職説明会事業	年度	H28
	事業費計	825
区分	旅費	3
	需用費	214
	役務費	40
	委託料	560
	使用料及び賃借料	8

(7) 寄附の見込額

(単位：千円)

合同就職説明会事業	年度	H28
	事業費計	825
	寄附額計	100
寄附法人	情報関連会社	100

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

毎年度、KPI である市内従業者数（製造業、従業者 4 人以上の事業所）及び市内立地大学の市内就職者数割合の達成状況を市関係部署が取りまとめて、本市の総合戦略推進委員（金融機関、大学、商工会議所、JA、市民団体の代表者、労働団体の代表者）により、事業の結果を検証し、必要に応じて次年度の事業手法を改良することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度、外部有識者（総合戦略推進委員）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに白山市ホームページ上で公表する。

(9) 事業期間 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月

5-3 その他の事業

(1) 中小企業の振興・創業支援関連

① 仕事と生活が調和する優良事業所表彰事業

事業概要：子育てにかかる取組みや障がい者・高齢者雇用にかかる取組みなど、事業所の仕事と生活の調和の実現に向けた活動及び雇用環境の整備に対して積極的に取り組む事業所を表彰する。従業員がいきいきと安心して働き続けられる雇用環境を促進することで、優良事業所として雇用の安定に効果が期待できる。

事業主体：白山市

事業期間：平成 28 年度から平成 30 年度を予定

② 起業家支援補助事業

事業概要：本市においては、平成 27 年 10 月に創業支援事業計画の認定を受け、窓口相談、創業応援塾、支援機関との連携による総合的な支援を実施することとしている。新たに起業しようとする者に、家賃や改装費・建築費の一部を助成し、しごとの創出を目指す。

事業主体：白山市

事業期間：平成 28 年度から平成 30 年度を予定

③ 創業者支援利子補給補助事業

事業概要：新たに事業を開始する創業者を支援するため、国・県の創業支援融資制度を利用した場合に、支払利子の一部を補助する。

事業主体：白山市

事業期間：平成 28 年度から平成 30 年度を予定

(2) 定住促進関連

① 立地企業従業員賃貸住宅家賃助成事業

事業概要：立地企業の従業員に対し、家賃の一部を助成し、立地企業従業員の本市への定住を促進する。

事業主体：白山市

事業期間：平成 28 年度から平成 30 年度を予定

(3) 企業誘致・工場建設関連

① 工場立地促進助成金事業

事業概要：工場用地の取得、新工場の建設や生産施設の購入等に対し、費用の一部を助成し、工場立地を促進する。

事業主体：白山市

事業期間：平成 28 年度から平成 30 年度を予定

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業の KPI である市内従業者数について、公表する。また、総合戦略推進委員（金融機関、大学、商工会議所、JA、市民団体の代表者、労働団体の代表者）により、事業の結果を検証し、次年度の事業手法を改良する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度末に外部有識者（総合戦略推進委員）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに白山市ホームページ上で公表する。